



消防団の組織概要

令和7年4月1日現在

都道府県名	愛知県	所在地	〒475-0817		
市町村名	半田市	所在地	半田市東洋町1-6(知多中部広域事務組合消防本部内)		
消防団事務所管	半田市役所総務部防災安全課	電話番号(直通)	0569-21-1490	FAX	0569-22-7420
消防団名	半田市消防団	メールアドレス	bousai@city.handa.lg.jp		

組織	分団数	15	分団	ホームページURL	
	うち機能別分団数	0	分団	SNSアカウント	
	方面隊数	0	隊		
	部数	0	部	消防団活動事例・PR等	
	班数	0	班		
団員数	条例定数	395	人	半田市消防団の紹介 半田市消防団の歴史 消防組織は、文政3年(1820)に成岩村の富豪榊原伊助が竜吐水(りゅうどすい)を備えたことに始まり、明治10年ころには各地域で消防組織が出来たと文献に記載されています。その後長らくは、半田、成岩、乙川、亀崎の4団で活動してきましたが、昭和37年4消防団を統合して半田市消防団に統合されました。脈々と受け継がれた郷土を守る精神は今も変わらず団員に引き継がれています。	
	実員数	333	人		
	男性団員数	325	人		
	女性団員数	8	人		
	基本団員数	257	人		
	大規模災害団員数	0	人		
	その他の機能別団員数	76	人		
職業構成別団員数	国家公務員	0	人	年間行事・活動 出初式、文化財消火訓練、操法訓練、総合防災訓練、各町内行事警備、年末夜警等が主な活動です。 昭和34年の伊勢湾台風により甚大な被害を受けた経験をもとに、自然災害の被害を軽減できるよう、団本部を中心に地区15分団(16詰所)車両19台で、災害時の活動や災害予防啓発をして地域住民の安心・安全を守る努力をしています。	
	地方公務員	9	人		
	都道府県職員	1	人		
	市区町村等職員	8	人		
	特殊法人等公務員に準ずる職員	1	人		
	農協職員	1	人		
	郵政職員	1	人		
ポンプ	普通消防ポンプ自動車	0	台	女性消防団 半田市消防団には女性団員「皐月(さつき)」という愛称の女性消防団があります。主に応急手当などの救命講習、防火啓発などを行っています。 機能別団員 地域の防災力を高めるため、消防団経験者による機能別団員を結成。74名が4地区に分かれ、それぞれの地域の火災時に率先して出動し、各地区分団の後方支援をします。	
	水槽付消防ポンプ自動車	0	台		
	小型動力ポンプ付積載車	19	台		
	小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)	0	台		
	手引き動力ポンプ	0	台		
年額報酬	報酬額(階級:団員)	年額	38,800	円	
	(参考)交付税単価(階級:団員)	年額	36,500	円	
出動報酬	火災		8,000	円	
	風水害等の災害		8,000	円	

※1:「消防団の組織概要等の調査」による。

※2:「年額報酬」「出動報酬」の額は、令和7年4月1日現在の条例で定める額。

「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出動に換算した額を記載。

定めがない場合又は年額支給の場合には「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。